

2020年  
4-9月期

# 県内景況・確報

◎概況 **県内景況は、新型コロナウイルス感染症の影響拡大により、厳しい状況である。**

●2020年4-9月期 おきぎん「カトレア」景況図●



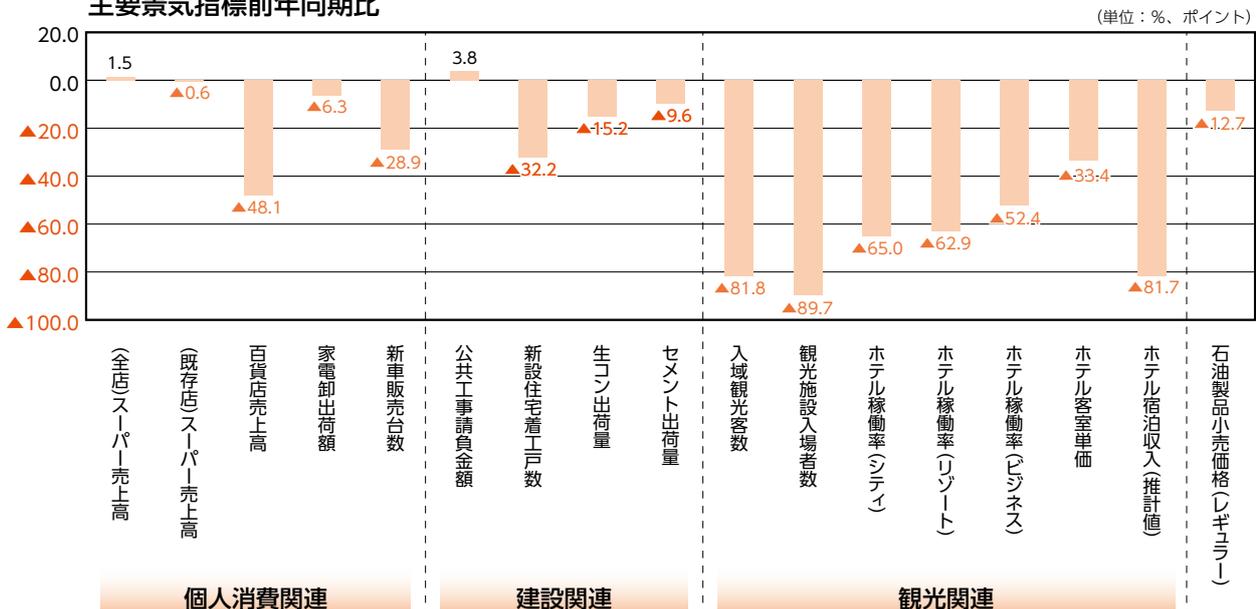
2020年4-9月期の県内景況は、**個人消費関連**では、スーパー売上高は、全店ベースは前年同期を上回りました。既存店ベースは前年同期を下回りました。百貨店売上高はインバウンド需要の減少などにより、前年同期を大幅に下回りました。耐久消費財である家電卸出荷額は、前年同期を下回り、新車販売台数も、前年同期を下回りました。

**建設関連**では、公共工事請負金額は、国や沖縄県による発注工事の増加などで前年同期を上回りました。新設住宅着工戸数は前年同期を下回りました。建設資材である生コン、セメントはともに前年同期を下回りました。

**観光関連**では、入域観光客数は、前年同期を大きく下回りました。観光施設入場者数も同様に前年同期を大きく下回りました。ホテル稼働率はシティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同期を下回りました。ホテル客室単価は前年同期を下回り、宿泊収入(推計値)は前年同期を下回りました。

このような状況に鑑みて、建設関連は弱含みがみられる中、個人消費や観光関連は厳しい状況にあることなどから「**県内景況は、新型コロナウイルス感染症の影響拡大により、厳しい状況である。**」と景気判断をしました。

主要景気指標前年同期比





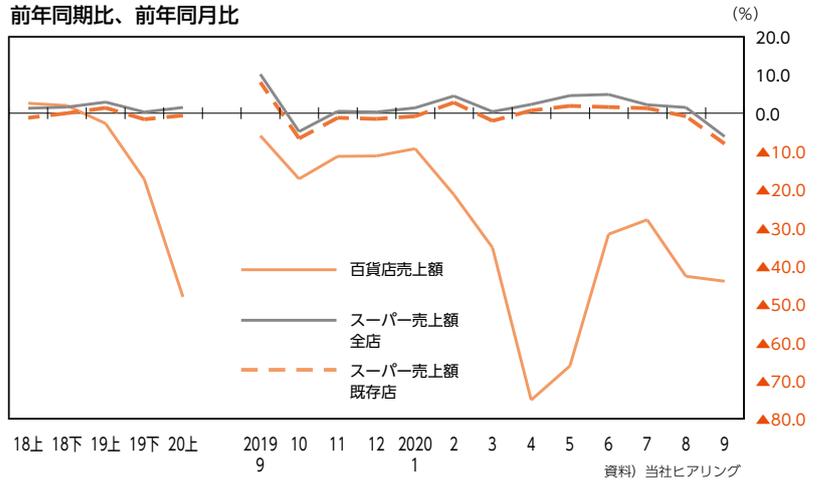
# 個人消費



(やや悪い)

## ① スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高は、全店ベースは前年同期を上回り、既存店ベースは下回る。百貨店売上高は前年同期を下回る。

**2020年4-9月期の個人消費関連**は、スーパー売上高が「**全店ベース(前年同期比1.5%増)**」は、前年同期を上回りました。品目別では、「衣料品(同21.8%減)」や、家電を含む「家庭用品(同2.2%減)」は、新型コロナウイルス感染症の影響拡大による外出自粛や、前年の消費税増税の駆け込み需要の反動などにより、前年同期を下回りました。一方、ウエイトの高い「食料品(同4.7%増)」は、新規出店効果や、巣ごもり需要の増加などにより、前年同期を上回りました。

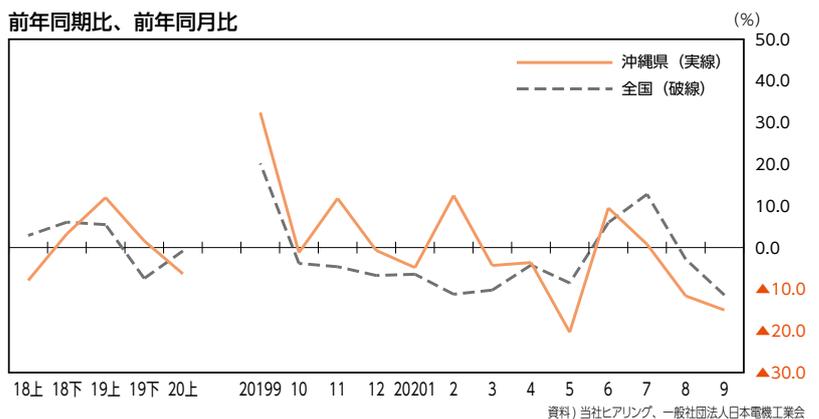


【**既存店ベース(同0.6%減)**】は、前年同期を下回りました。品目別では、「衣料品(同24.4%減)」は、新型コロナウイルス感染症の影響拡大による外出自粛や不要不急の買い物を控える動きが見られ、前年同月を下回りました。「家庭用品(同5.9%減)」は、新型コロナウイルス感染症の影響拡大により、衛生用品は伸びたものの、前年の消費税増税の駆け込み需要の反動減などから、前年同期を下回りました。一方、ウエイトの高い「食料品(同3.1%増)」は、緊急事態宣言の発出による外出自粛や学校の休校などにより中食、内食需要が増加し、前年同期を上回りました。

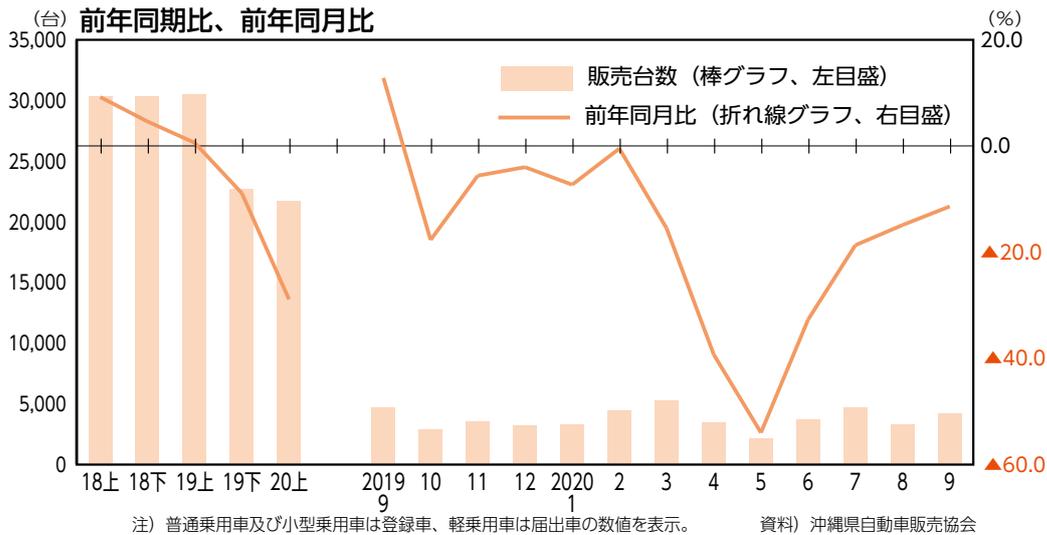
**百貨店売上高**は、新型コロナウイルス感染症の影響拡大による休業要請や、インバウンド需要の減少などから、全般的に伸びず、前年同期を大幅に下回りました(同48.1%減)。内訳をみると、ウエイトの高い「衣料品(同48.9%減)」は、新型コロナウイルス感染症の影響拡大による外出自粛や不要不急の買い物を控える動きなどから、「紳士服(同43.1%減)」、「婦人服(同48.7%減)」など全般的に伸びず、前年同期を下回りました。「雑貨(同57.8%減)」、「身の回り品(同49.1%減)」は、インバウンド需要の大幅な減少により前年同期を下回りました。また、「食料品(同34.3%減)」は、休業要請や時短営業、催事企画の開催見送りなどの影響により、来店客数が減少し、前年同期を下回りました。

## ② 家電卸出荷額…前年の消費税増税の駆け込み需要の反動により、前年同期を下回る。

**家電卸出荷額**は、前年同期を下回りました(同6.3%減)。品目別では、「テレビ(同15.4%減)」、「洗濯機(同3.7%減)」は、前年の消費税増税の駆け込み需要の反動により、前年同期を下回りました。一方、「エアコン(同3.7%増)」は、特別定額給付金の支給による買い替え需要の増加などにより、前年同期を上回りました。



③ 新車販売台数…自家用車需要、レンタカー需要の減少から、前年同期を下回る。



新車販売台数は、全体で21,681台（同28.9%減）となり、前年同期を下回りました。車種別では、「普通乗用車（同34.0%減）」、「小型乗用車（同36.4%減）」、「軽乗用車（同22.3%減）」は、前年の消費税増税の駆け込み需要の反動による自家用車需要の減少に加え、観光客の減少によるレンタカー需要の減少により、前年同期を下回りました。

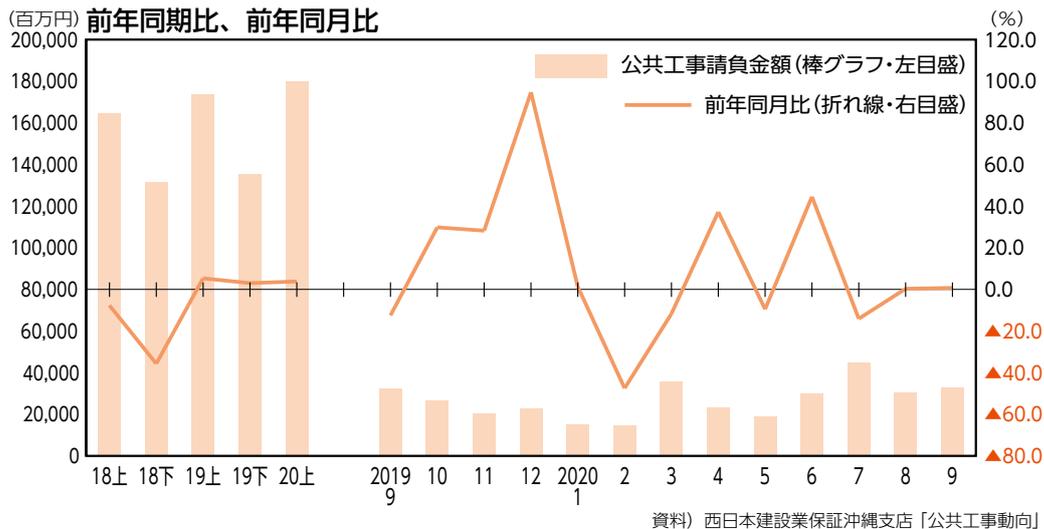
※普通乗用車及び小型乗用車は登録ベース、軽乗用車は届出ベースの数値を合算。

建設関連



(ぶつう)

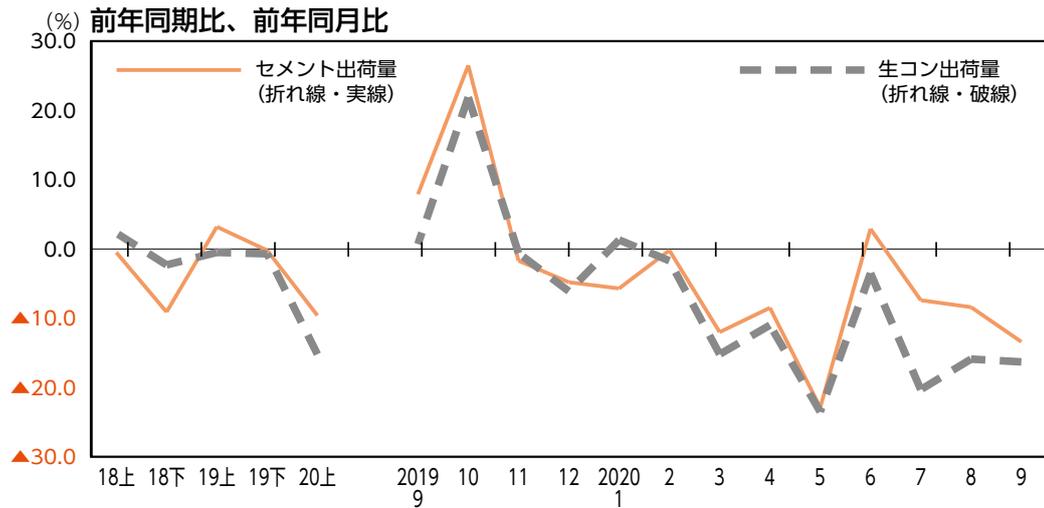
① 公共工事…公共工事請負金額は前年同期を上回る。



2020年4-9月期の公共工事請負金額は、前年同期比3.8%増の1,800億5,100万円となりました。発注者別でみると、「国（同21.1%増）」や「沖縄県（同7.6%増）」は前年同期を上回りました。一方、「市町村（同7.3%減）」や「その他の公共的団体（同15.4%減）」、「独立行政法人等（同16.5%減）」は前年同期を下回りました。



## ② 建設資材…生コン、セメントはともに前年同期を下回る。



建設資材関連では、**生コン**の出荷量は15.2%減と前年同期を下回りました。内訳では、公共工事向け出荷が前年同期より8.8%下回り、民間工事向け出荷は18.0%下回りました。**セメント**出荷量は9.6%減と前年同期を下回りました。

## ③ 新設住宅着工戸数…着工戸数は前年同期を下回る。



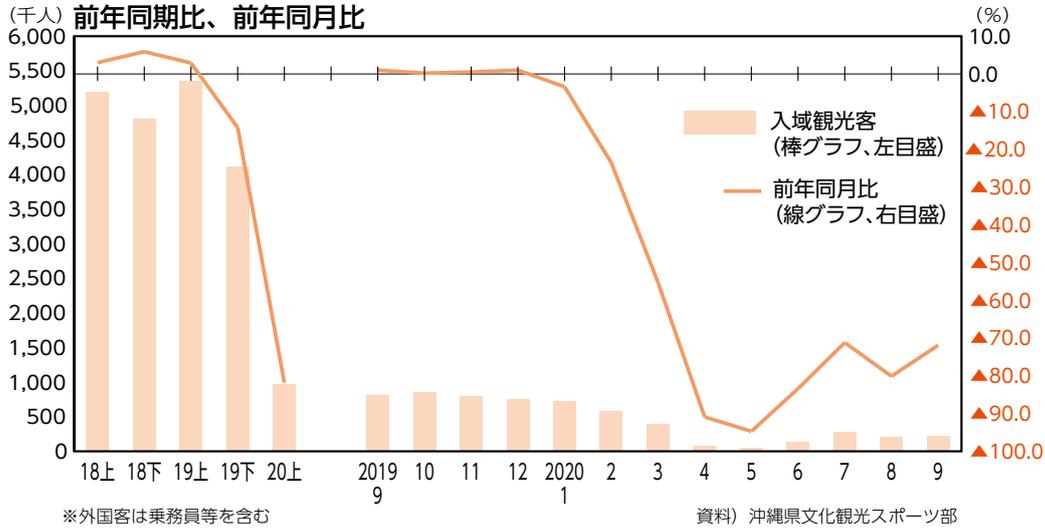
**新設住宅着工戸数**は、全体で5,404戸となり32.2%減と前年同期を下回りました。利用別戸数をみると、ウェイトの高い「貸家 (同40.3%減)」のほか、「分譲住宅 (同29.7%減)」や「持家 (同21.9%減)」は前年同期を下回りました。一方、「給与住宅 (同1460.0%増 (15.6倍))」は前年同期を上回りました。

観光関連

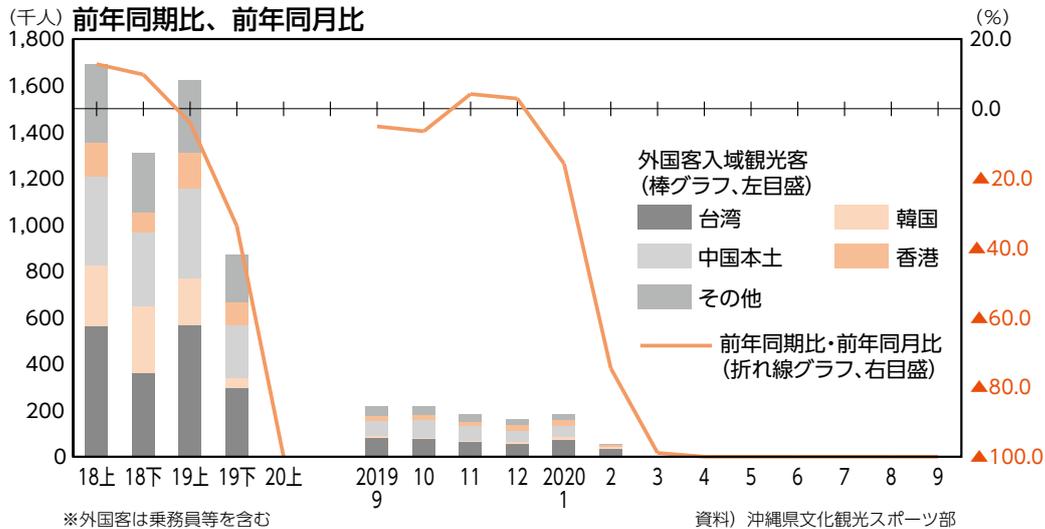


(悪い)

① 入域観光客数(国内客・外国客の合計)…前年同期を大きく下回る。



外国客 入域観光客数…前年同期を大きく下回る。(100%減少)



2020年4-9月期の入域観光客数は97万3,100人となり、前年同期を81.8%大きく下回りました。内訳をみると、「国内客 (同73.9%減)」は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から4月から5月にかけて国・県の緊急事態宣言による移動自粛要請、さらに8~9月上旬の県独自の緊急事態宣言などから旅行需要は落ち込み前年同期を大きく下回りました。

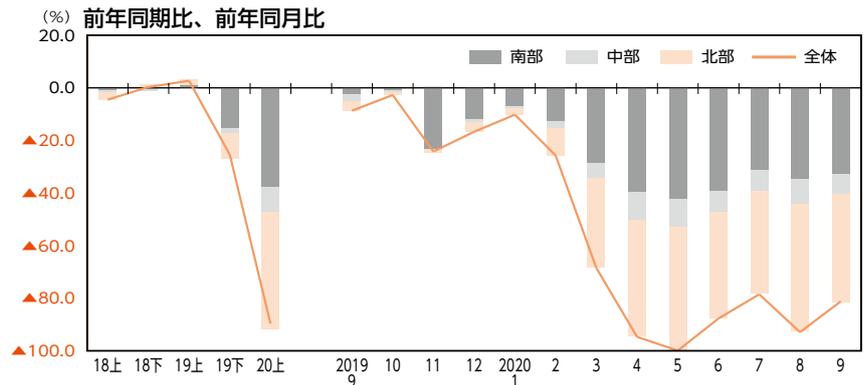
他方、「外国客 (同100.0%減)」も同様に、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から台湾、中国、香港、韓国を含む国や地域から日本への入国制限措置、海外航空便の運休・減便などから前年同期を下回りました。

※乗務員等を含む数値を掲載



## ② 観光施設入場者数…前年同期を大きく下回る。

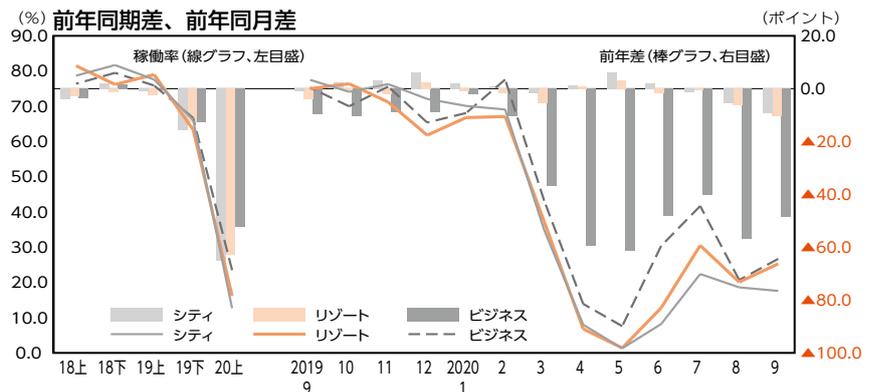
**観光施設入場者数**は、全体で前年同期より△89.7%減少しました。地域別にみると、南部にある観光施設は同37.7%減、中部は同9.0%減、北部は同45.4%減と前年同期を下回りました。



※調査対象施設数=南部6、中部5、北部4施設  
 ※2019年1月より、中部の対象施設数が変更(6⇒5)となったことから、数値を遡って改定した。  
 ※2019年3月より、北部の対象施設数が変更(5⇒4)となったことから、数値を遡って改定した。 グラフは全体の寄与度を表示。 資料) 当社ヒアリング

## ③ ホテル稼働率…シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同期を下回る。

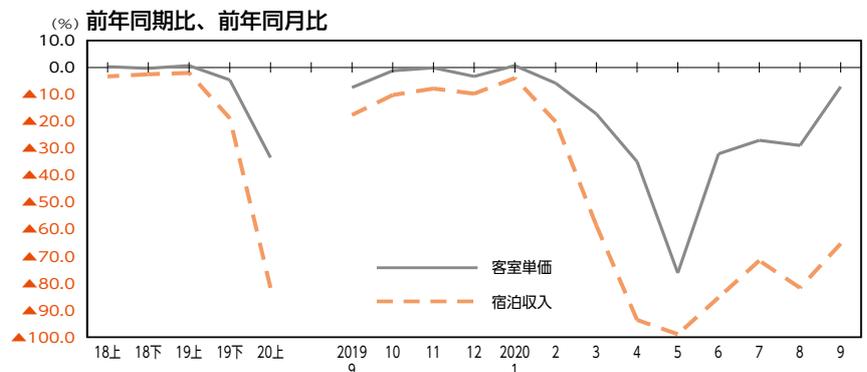
**2020年4-9月期の県内ホテル稼働率**は、シティホテルが12.7%と前年同期差65.0ポイント減少、リゾートホテルが16.2%と同62.9ポイント減少、ビジネスホテルは23.5%と同52.4ポイント下回りしました。



注) シティ 8ホテル、リゾート18ホテル、ビジネス6ホテル  
 注) 2019年3月より、ビジネスホテル対象施設数に変更(7⇒6)となったことから、数値を遡って改定した。  
 ※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。 資料) 当社ヒアリング

## ④ ホテル客室単価・宿泊収入…客室単価は前年同期を下回り、宿泊収入は下回る。

**ホテル客室単価** (シティ&リゾート) は前年同期比33.4%減と前年同期を下回りました。**宿泊収入**も同81.7%減と前年同期を下回りました。



※対象施設数:26施設(シティ8、リゾート18)、ビジネスは除く  
 ※客室単価は26施設の平均値、宿泊収入は各施設の推計値の総額(稼働率及び客室単価より当社推計)  
 ※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。 資料) 当社ヒアリング



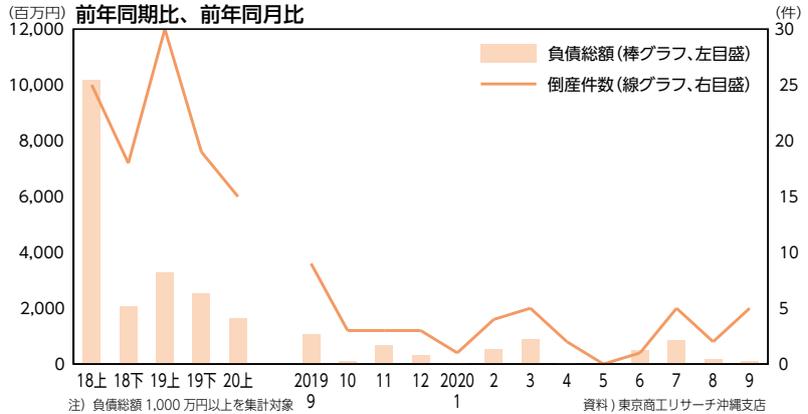
企業倒産



(やや良い)

① 企業倒産…件数、負債総額ともに前年同期を下回る。

**2020年4-9月期の企業倒産件数**は、15件（うち負債総額1億円以上10億円未満の大口倒産は4件）となり、前年同期より50.0%下回りました。**負債総額**は16億4,800万円となり、前年同期を49.6%下回りました。



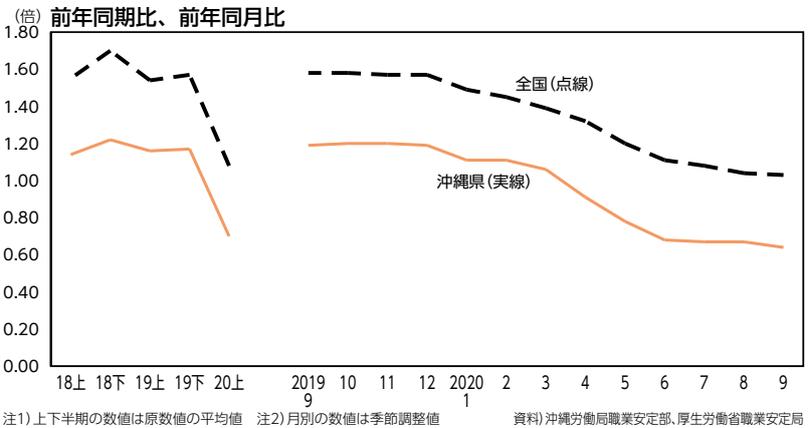
雇用関連



(やや悪い)

① 有効求人倍率…沖縄、全国はともに前年同期より低下。

**2020年4-9月期の雇用状況**は、有効求人数（原数値平均）は前年同期比33.7%減の19,903人に対して、有効求職者数（同上）は前年同期比9.3%増の28,371人となり、有効求人倍率（同上）は0.70倍と、前年同期より0.46ポイント低下しました。



② 完全失業率…沖縄、全国はともに前年同期より上昇。

**完全失業率(原数値平均)**は、3.5%となり前年同期より0.6ポイント上昇しました。

